

# 跨道橋撤去に係る基本方針

平成 26 年 11 月

西桂町

## I 基本的な考え方

### 1 跨道橋の建造経緯と現在の状況



溝 上 橋



月 夜 の 平 橋

中央自動車道富士吉田線の昭和44年3月供用開始と同時に、赤道の代替施設として歩道橋である溝上橋及び月夜の平橋が供用開始されました。当時は倉見山より材木の搬出で多数の通行があり、当時は薪の原料として子ども達も木を運んでいたようです。

しかし、平成15年頃になると、時代の変化により木材の搬出がほとんどされなくなり、通行者がほとんどいなくなりました。逆に、山から動物が橋を渡って農作物を荒らすようになり、これを受けて地元の要請により、立入防止柵を設置いたしました。

また、平成21年4月には中日本高速道路株式会社が2橋の跨道橋を近接目視による点検をし、損傷については2橋とも補修が必要であるが緊急性はないとの点検結果をいただきました。

そのような中、平成24年12月に中央自動車道笹子トンネル内において多くの人命が失われる天井板落下事故が発生し、全国のトンネルや道路・橋梁管理を総括する国土交通省において、全国自治体に対しこのような事故の再発防止と老朽化したトンネルや橋梁の点検・補修を早期に実施するよう指示があり、当町においても平成23年度に「橋の長寿命化計画」を策定したところでありますが、2橋の跨道橋については「認定外道路」であるため、長寿命化計画の中には含まれておりません。

平成26年11月現在、この2橋の跨道橋については自由に橋梁を渡ることができない状態が10年以上続いているにもかかわらず、住民の皆様より特に苦情も寄せられていないため、町ではこの利用者のほとんどない跨道橋について、跨道橋ゆえに他の橋梁より多くの維持管理費が必要であり、かつ、コンクリート片の剥落や落橋による事故時の莫大な補償金リスクを抱えるよりも、単純撤去により後世に負の遺産を残さないよう基本方針を定めるものです。

## 2 跨道橋撤去の必要性

町では、中央自動車道笹子トンネル天井板落下事故を受けて、建造から45年を経て橋梁部分の一部崩落が不安視されている町内2ヶ所の町管理の中央自動車道跨道橋（溝上橋・月夜の平橋）を撤去することで、コンクリート片の剥落や落橋のリスクをゼロにし、中央自動車道を走行中の車両の安全確保を図りたいと考えております。

## 3 跨道橋撤去後の代替ルート

- 溝上橋…白山神社前→厄神社前→中央道沿いの町道倉見中央道西2号線通行により溝上橋倉見山側へ
- 月夜の平橋…町民グラウンド富士吉田市側→中央道沿いの農道大島線通行により月夜の平橋倉見山側へ

## II 跨道橋撤去事業の今後の計画(案)

### 1 事務日程(案)

- ① パブリックコメントの募集【11月27日(木)～平成27年1月26日(月)予定】
- ② 倉見区他地元関係者の同意【平成27年1月予定】
- ③ 町議会への説明【3月定例町議会(補正予算計上等)】
- ④ 議会広報にて町民の皆様に周知予定【4月】

### 2 事業計画(案)

- ① 中日本高速道路株式会社と基本協定締結【H26年度末まで】
- ② 撤去工事設計委託【H27年度中】
- ③ 撤去工事実施【H28年度・(仮称)富士吉田北スマートIC架橋工事と同時施工予定】

※ 上記計画はあくまでも平成26年11月現在の予定です。予算の動向により、事業が前倒して進む可能性もあります。